

船舶事故調査報告書

平成28年10月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年1月26日 10時22分ごろ
発生場所	山口県上関町八島 ^や 北岸沖 八島港A1防波堤灯台から真方位016°3,900m付近 (概位 北緯33°45.9′ 東経132°09.2′)
事故の概要	プレジャーボート ^{ホリデー} Holidayは、北進中、干出岩に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年6月17日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート Holiday、4.0トン YG3-62167（漁船登録番号）、株式会社山陽ミート 第242-26926号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船底に擦過傷、プロペラ翼に曲損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1.5m、潮汐 高潮時
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人4人を乗せ、八島東岸沖で釣りをした後、釣り場を移動しようと思い、約4～5ノットの対地速力で八島北岸に沿って航行中、干出岩に乗り揚げた。 船長は、ふだん八島西岸沖で釣りをしており、八島北岸を陸岸沿いに航行するのが初めてで、八島北岸沖の干出岩の存在を知らなかった。
分析	本船は、船長が、八島北岸沖の干出岩の存在を知らなかったことから、同干出岩に向けて航行したものと考えられる。
原因	本事故は、船長が、八島北岸沖の干出岩の存在を知らなかったため、同干出岩に向けて航行し、本船が同干出岩に乗り揚げたものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・事前に航行海域の水路調査を行うこと。